

平成21年度（平成20年度対象）

教育に関する事務の管理及び執行の状況  
の点検及び評価の報告書

平成21年8月

音更町教育委員会

## 目 次

### はじめに

1 点検及び評価の趣旨	1
2 点検及び評価の対象	1
3 点検及び評価の方法	1

### I 点検及び評価の結果

#### 1 教育委員会の活動状況

(1) 会議の状況	2
(2) 規則等の制定・改廃の状況	5
(3) 表彰の状況	5
(4) 研修会等への参加の状況	7
(5) 学校訪問の状況	7
(6) 町民への情報提供の状況	8
(7) 教育委員会の組織	9

#### 2 教育行政推進における主要な施策の実施状況

文教対策	10
社会教育の振興	15
社会体育の振興	19

### II 学識経験者の意見

22

## はじめに

### 1 点検及び評価の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され（平成20年4月1日施行）、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出することとされました。

また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされました。

音更町教育委員会では、これまで各種計画に基づき効果的な教育行政を推進してきましたが、法に基づく点検及び評価を行い、その結果を公表することで、町民の皆様に教育に関する事務の管理及び執行の状況について説明するとともに、今後の施策・事業の展開等に活用し、より一層効果的な教育行政の推進を図っていきます。

### 2 点検及び評価の対象

平成20年度の教育委員会の活動状況のほか、平成20年度教育行政推進の方針に位置づけられて実施した施策・事業等を点検及び評価の対象としています。

### 3 点検及び評価の方法

教育委員会が行った点検及び評価の客観性を確保するとともに、今後の取り組みに向けた活用を図るため、教育に関し学識経験を有する方から点検及び評価に関する意見や助言をいただきました。

学識経験者 津久井 寛 氏（帯広大谷短期大学教授）

大谷 宣征 氏（北十勝退職校長会）

## I 点検及び評価の結果

### 1 教育委員会の活動状況

#### (1) 会議の状況

教育委員会の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律及び音更町教育委員会規則に基づき、5人の教育委員会委員が教育行政に関する基本的な方針の決定や教育委員会規則の制定など、教育に関する様々な議題について審議します。

平成20年度は、次のとおり開催されました。

それぞれの会議においては、事務局から付議案件の提案理由や説明が行われた後、教育委員会委員の活発な質疑、審議を経て、いずれも決定、了承されました。

平成20年度より、教育委員会の会議の活性化と十分な審議を実施するため、各委員に議案・資料等の事前説明を行う等、審議がより活発なものとなるようにしております。

今後においても、日常的に事務局と施策・事業の実施状況等や教育の課題等についての意見交換を行い、学校訪問などの活動を充実させながら、積極的に教育行政を推進していく必要があると考えております。

期日	付議案件
20. 4. 25	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>教育委員会事務報告</li><li>入学式の実施状況について</li><li>規模別小中学校の教育効果に関する研究委託について</li></ul> <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>音更町教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則案について</li><li>音更町教育研究所所員の委嘱について</li><li>音更町社会教育委員及び音更町公民館運営審議会委員の委嘱について</li><li>音更町文化財保護審議会委員の委嘱について</li><li>音更町体育指導員の委嘱について</li><li>音更町図書館協議会委員及び音更町立視聴覚ライブラリー運営委員会委員の委嘱について</li></ul>
20. 5. 30	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>教育委員会事務報告</li></ul> <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>音更町温水プール指定管理者の更新について</li><li>音更町学校評議員の委嘱について</li><li>音更町奨学資金審議会委員の委嘱について</li><li>音更町青少年センター運営委員の委嘱について</li></ul> <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>平成20年度補正予算（案）について</li><li>駒場小学校校舎改築、木野東小学校校舎増築、鈴蘭小学校校舎増築及び改修について</li><li>教育委員の学校訪問について</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 規模別教育効果に関する調査結果について</li> </ul>
20. 6. 25	<ul style="list-style-type: none"> <li>(報告) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育委員会事務報告</li> <li>・ 平成19年度給食費の未納状況について</li> <li>・ 陳情第14号 義務教育費国庫負担制度の堅持と負担率回復、教育予算の拡充を求める件</li> </ul> </li> <li>(議案) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校職員評価制度の実施について</li> <li>・ 英語指導助手の採用について</li> <li>・ 音更町奨学資金支給者の決定について</li> </ul> </li> <li>(協議案) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育委員の学校訪問日程について</li> </ul> </li> </ul>
20. 7. 17	<ul style="list-style-type: none"> <li>(報告) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育委員会事務報告</li> </ul> </li> <li>(議案) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音更町いじめ問題等対策委員会委員の委嘱について</li> <li>・ 勤勉手当に係る給与決定手続きの「試行」実施について</li> </ul> </li> </ul>
20. 8. 29	<ul style="list-style-type: none"> <li>(報告) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育委員会事務報告</li> <li>・ 学校支援地域本部事業について</li> </ul> </li> <li>(議案) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音更町教員住宅管理規程の一部を改正する訓令案について</li> <li>・ 平成21年度に使用する小学校用及び中学校用教科用図書の採択について</li> <li>・ 音更町就学指導委員会委員の委嘱について</li> <li>・ 音更町指定管理者選定委員の任命について</li> <li>・ 財産の取得について</li> </ul> </li> </ul>
20. 9. 26	<ul style="list-style-type: none"> <li>(報告) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育委員会事務報告</li> <li>・ 教職員時間外勤務手当等請求訴訟事件について</li> </ul> </li> <li>(議案) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成21年度北海道公立学校校長採用候補者の推薦について</li> <li>・ 平成21年度北海道公立学校教頭昇任候補者の推薦について</li> </ul> </li> </ul>
20. 10. 17	<ul style="list-style-type: none"> <li>(報告) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育委員会事務報告</li> </ul> </li> <li>(議案) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成20年度音更町文化奨励賞等受賞者の決定について</li> <li>・ 東中音更小学校の閉校・統合について</li> </ul> </li> </ul>
20. 11. 28	<ul style="list-style-type: none"> <li>(報告) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育委員会事務報告</li> </ul> </li> <li>(議案) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音更町社会教育委員協議会規則の制定について</li> <li>・ 音更町温水プール指定管理者の候補者の選定について</li> </ul> </li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成20年度全国学力学習状況調査結果の分析と検証について (協議案)</li> <li>平成20年度補正予算（案）について</li> <li>平成21年度教育委員会予算について（予算編成に向けて）</li> </ul>
20.12.24	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育委員会事務報告</li> <li>平成20年度いじめに関する実態報告について</li> <li>陳情第17号 義務教育費国庫負担制度の堅持と教育予算の拡充を求める件について</li> <li>指定管理者の指定について</li> <li>緑南中学校校舎耐震診断の結果について</li> </ul> <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成21年度教育委員会予算編成に伴う主要事業の概要について</li> </ul>
21.1.23	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育委員会事務報告</li> </ul> <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成21年度全国学力・学習状況調査への参加について</li> <li>音更町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する規則の制定について</li> </ul>
21.2.3 (臨時会)	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音更町立学校学区外・区域外就学許可要綱の一部を改正する要綱案について</li> </ul>
21.2.20	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育委員会事務報告</li> <li>平成20年度補正予算について</li> </ul> <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告書について</li> <li>平成20年度音更町スポーツ賞等該当者の決定について</li> <li>教職員人事の内申について</li> </ul> <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成20年度補正予算（案）について</li> <li>平成21年度教育委員会予算（案）及び主要事業について</li> </ul>
21.3.25	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育委員会事務報告</li> <li>卒業式の実施状況について</li> </ul> <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音更町立学校管理規則の一部を改正する規則案について</li> <li>音更町教職員研修交付金交付規則を廃止する規則案について</li> <li>音更町立視聴覚ライブラリー設置規則を廃止する規則案について</li> <li>平成21年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査への参加について</li> <li>教職員人事の内申について</li> <li>音更町教育委員会事務局職員の人事について</li> </ul>

(2) 規則等の制定・改廃の状況

平成20年度に制定・改廃された教育委員会の規則・訓令及び教育関係の条例は次のとおりです。

ア 規則

題名	公布年月日	施行年月日
・音更町教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則	20. 4. 25	20. 4. 1
・音更町社会教育委員協議会規則の制定	20. 11. 28	20. 11. 28
・音更町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する規則の制定	21. 1. 23	21. 1. 23
・音更町立学校管理規則の一部を改正する規則	21. 3. 25	21. 4. 1
・音更町教職員研修交付金交付規則を廃止する規則	21. 3. 25	21. 4. 1
・音更町立視聴覚ライブラリー設置規則を廃止する規則	21. 3. 25	21. 3. 25

イ 訓令

題名	公布年月日	施行年月日
・音更町教員住宅管理規程の一部を改正する訓令	20. 8. 29	20. 9. 1

ウ 条例 (平成20年度に制定・改廃された教育委員会の条例はありませんでした。)

(3) 表彰の状況

ア 音更町文化奨励賞等

[音更町の文化の高揚と発展に寄与した個人及び団体を表彰]

① 文化奨励賞：(科学・芸術・教育等を通じ、音更町の文化の進展に著しく貢献した個人又は団体を表彰)

	氏名(年齢)	表彰事由
個人	平田松征(60歳)	園芸講師・ボランティアとして地域社会へ貢献
	長沢和恵(78歳)	民謡の指導者として本町文化の向上に寄与
団体	音更高等学校写真部	写真(学生写真道展での最高賞等、上位独占受賞)

② 文化奨励特別賞：(音更町の文化の振興発展に貢献し、その功績が特に顕著な個人又は団体を表彰)

	氏名(年齢)	表彰事由
団体	音更郷土史研究会	地域の生活文化の保存継承に努め、文化向上に貢献

イ 音更町スポーツ賞等

[音更町のスポーツの分野において優秀な成績をおさめた者及びスポーツの振興に寄与した個人又は団体を表彰]

① スポーツ賞 (全国・全道規模の大会で優秀な成績・記録をおさめた個人又は団体)  
【個人】

氏 名	年齢	所 属	種 目
荒谷 房之介	14	駒場中学校	陸上
吉田 瞳	15	共栄中学校	剣道
坂本 百代	15	共栄中学校	剣道
椎名 直美	41	音更町ソフトテニス連盟	ソフトテニス
松木 智雅	15	緑南中学校	陸上
上野 綾哉	12	鈴蘭小学校	サッカー
草野 侑己	12	柳町小学校	サッカー
佐藤 健太	12	柳町小学校	サッカー
中田 稔大	12	柳町小学校	サッカー
樋木 太貴	12	下音更小学校	サッカー
阿部 凌太郎	12	下音更小学校	サッカー
小原 夢雅	12	音更小学校	スピードスケート
橋本 孝広	54	音更カーリング協会	カーリング
羽原 悠紀	17	白樺学園高等学校	バレーボール
小原 卓朗	18	白樺学園高等学校	アイスホッケー
吉澤 昂太郎	18	白樺学園高等学校	アイスホッケー
小原 日向	16	白樺学園高等学校	アイスホッケー
北野 貴史	14	共栄中学校	バドミントン
池田 真菜	12	鈴蘭小学校	チアリーディング
池田 恵奈	10	鈴蘭小学校	チアリーディング
関口 瑠華	10	木野東小学校	チアリーディング
谷垣 彩香	15	下音更中学校	スピードスケート

【団体】(平成20年度は該当者なし。)

② スポーツ奨励賞 (全国・全道規模の大会で上位入賞、十勝大会で優秀な成績)  
【個人】

氏 名	年齢	所 属	種 目
阿部 佳歩	17	帯広三条高等学校	剣道
村上 明弘	18	白樺学園高等学校	野球
小田桐 史弥	18	帯広大谷高等学校	サッカー

【団体】(平成20年度は該当者なし。)

③ スポーツ功労賞 (本町におけるスポーツの普及振興に貢献のあった個人又は団体)  
【個人】

氏 名	年齢	所 属	種 目
野村 正夫	73	音更町柔道連盟	柔道

#### (4) 研修会等への参加の状況

教育委員会では、各種研修会に参加し、他市町村教育委員会との情報交換や、研修に努めているほか、教育行政に関する調査・研究を行っています。

平成20年度は、岩見沢市教育委員会を訪問し、指導室の設置及び学校選択制度・学校評価制度等についての調査・研究を実施いたしました。

年月日	場所	研修会等
20. 7.10 ～11	札幌市	・岩見沢市教育委員会 ・第45回北海道市町村教育委員研修会
20. 12. 3	幕別町	・十勝管内市町村教育委員会教育委員研修会

#### (5) 学校訪問の状況

教育委員会では、教育委員全員で町内全小中学校を訪問し、それぞれの学校の取り組みについて実情把握に努めています。

校長より経営の重点・懸案事項の説明及び授業参観による子どもたちの学びの様子を見学後、教育委員会と校長・教頭との意見交換により、学校運営・教育環境等様々な視点で実情と課題の把握等に努め、より良い教育環境の推進に努めております。

また、訪問時に学校給食の試食も行っております。

平成20年度は特に、学習支援員の活用状況を把握し、学習支援員の役割の重要性、今後の配置の必要性を含め、各学校における特別支援教育の実情と、課題の把握に努めました。

訪問年月日	訪問学校名
20. 7.15	豊田小学校、東士幌小学校、(学校給食) 共栄中学校
20. 7.17	緑陽台小学校、鈴蘭小学校 (学校給食)
20. 8.25	東士狩小学校、音更中学校 (学校給食)、下音更中学校
20. 8.29	下音更小学校、柳町小学校 (学校給食)
20. 9. 3	東中音更小学校、西中音更小学校 (学校給食)、南中音更小学校
20.10. 7	木野東小学校、緑南中学校 (学校給食)、下士幌小学校
20.10.15	駒場中学校、駒場小学校
20.10.24	昭和小学校、音更小学校 (学校給食)

#### (各種学校行事等)

小中学校の入学式・卒業式に委員長をはじめ、各委員、教育長が出席するほか、運動会・体育祭への訪問等を行っています。

## (6) 町民への情報提供の状況

教育委員会では、教育に関する制度や手続き、行事等の周知を図るために、様々な情報を提供しています。

今後においても、ホームページや町広報誌等を活用し、情報提供の方法を工夫しながら、より一層、わかりやすく、様々な情報を提供していく必要があると考えています。

### ア 広報誌の活用

毎月発行している公報「おとふけ」にて教育に関する各種情報の提供に努めました。

(主な掲載情報)

- ・「生涯学習のまど」00JC オープンカレッジ 等の各種講座の紹介
- ・「図書館通信」新着・おすすめ図書の紹介、図書館行事のお知らせ
- ・その他（小規模特認校の特集紹介等）

### イ ホームページの活用

ホームページの管理・運営を通じて、教育委員会の活動を町民にお知らせしています。

(主な掲載情報)

- ・音更町の教育目標
- ・小中学校ホームページ
- ・学校教育関係（区域外就学、就学援助等）
- ・社会教育関係（施設の紹介 空き状況/予約、生涯学習等）
- ・図書館（蔵書検索）
- ・教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告書

※ 平成20年度より社会教育委員協議会等の審議会の会議結果について、ホームページでお知らせしております。

（定例の教育委員会会議の開催案内と会議結果（要旨）については平成21年度よりホームページでお知らせしております。）

(7) 教育委員会の組織

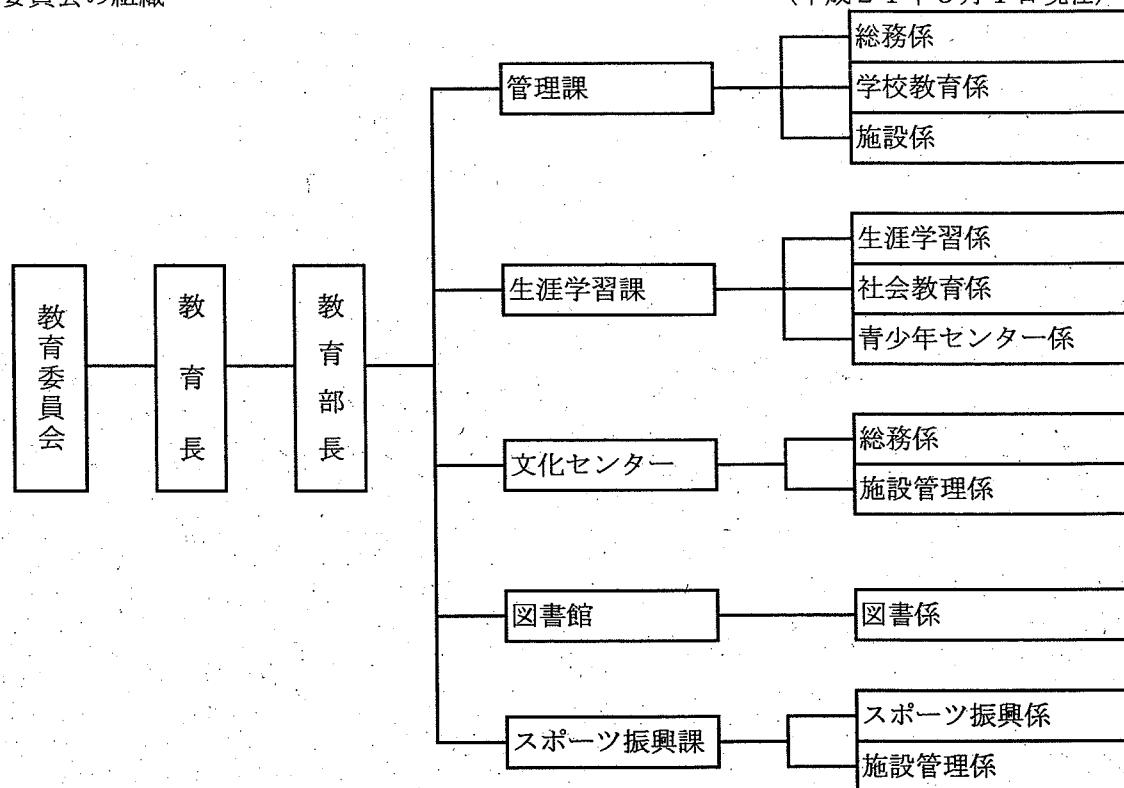
教育委員会委員

(平成21年5月1日現在)

職名	氏名	教育委員の任期	
委員長	加藤 穎一	平成19年11月 5日	～ 平成23年11月 4日
委員長代理	古屋 泰江	平成12年11月 2日	～ 平成24年11月 1日
委 員	南出 匠	平成14年 1月 20日	～ 平成22年 1月 19日
委 員	田中 義博	平成16年11月 2日	～ 平成24年11月 1日
教 育 長	荒町 利明	平成21年 5月 1日	～ 平成23年 3月 31日

教育委員会の組織

(平成21年5月1日現在)



項目	主 要 な 施 策	成 果	教育委員会の点検・評価
文 教 策			
1. 幼稚園就園奨励	私立幼稚園就園奨励補助を次のとおり実施した。 補助対象人数 387人 補助額 28,092,500円	私立幼稚園に就園している園児の保護者の所得状況に応じて経費の一部を補助することにより、経済的負担が軽減され、もって幼児教育の振興が図られるが、文部科学省の補助事業でも補助額は年々増加傾向にあるが、今後とも継続していきたい。	
2. 教 職 員 研 修	教職員の資質の向上を図るため、次のとおり研修を行った。 対象教職員 339人 対象費用 2,856,960円	私立幼稚園に就園している園児の保護者の所得状況に応じて経費の一部を補助することにより、経済的負担が軽減され、もって幼児教育の振興が図られるが、文部科学省の補助事業でも補助額は年々増加傾向にあるが、今後とも継続していきたい。	教職員の素養、知識、技術向上のために学校内で行う研修と、道内研修参加者にその費用を交付した。 平成21年度は、教職員研修の更なる充実を図るべく、学校内での総務工夫した研修を奨励する「校内研修実践指定校事業」を実施することとした。
3. 教 職 員 健 康 対 策	教職員の健康診断を次のとおり実施した。 受診人数 314人 延1,494人 3,262,409円 胸部X線、胃検査、血压検査、尿検査、血液検査 心電図検査、聴力検査、身体総合検査	教職員の健康診断を帯広徳州会病院に委託し、実施した。受け入れ人数の制限があるため(1日5名程度)長期間に渡る受診が、長期休業期間中に多くの教職員が実施されるよう日程調整をし、今後とも実施していきたい。	
4. 教 材 教 具 の 整 備	小中学校の教材教具を次のとおり整備した。 (単位 円)		新設の普通学級や特別支援学級に必要な教材や、学校要望を整理した上で教材教具を整備し、教育環境の充実を図っている。 また、吹奏楽の楽器は年次計画で各中学校に整備している。 今後とも計画的に教材教具を整備していく必要がある。
5. 総 合 的 な 学 習 の 時 間 支 業	総合的な学習の時間として、創意工夫を生かした特色ある学校づくりの推進を図った。		総合的な学習の時間における教育活動において、創意工夫による特色ある学校づくりに資するため、小中学校にその経費を交付している。 今後とも、国際理解・情報・環境・福祉・健康教育等の総合的な教育活動の推進のために必要である。

項 目	成 果	教育委員会の点検・評価																																
主、要な施策																																		
6. 就学援助	就学困難な児童生徒に対し、次のとおり就学援助費を支給した。 (単位 人、円)																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>人 数</th> <th>支 給 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学 用 品 費</td> <td>862</td> <td>14,990,980</td> </tr> <tr> <td>体 育 実 業 用 具 費</td> <td>287</td> <td>3,234,490</td> </tr> <tr> <td>入 学 準 備 金</td> <td>173</td> <td>3,715,700</td> </tr> <tr> <td>修 通 学 費</td> <td>191</td> <td>7,377,108</td> </tr> <tr> <td>医 療 費</td> <td>19</td> <td>398,420</td> </tr> <tr> <td>給 食 費</td> <td>499</td> <td>1,835,581</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>887</td> <td>68,127,193</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	人 数	支 給 額	学 用 品 費	862	14,990,980	体 育 実 業 用 具 費	287	3,234,490	入 学 準 備 金	173	3,715,700	修 通 学 費	191	7,377,108	医 療 費	19	398,420	給 食 費	499	1,835,581	計	887	68,127,193									
区 分	人 数	支 給 額																																
学 用 品 費	862	14,990,980																																
体 育 実 業 用 具 費	287	3,234,490																																
入 学 準 備 金	173	3,715,700																																
修 通 学 費	191	7,377,108																																
医 療 費	19	398,420																																
給 食 費	499	1,835,581																																
計	887	68,127,193																																
7. 奨 学 資 金	高校在学者で家庭の経済的な理由により就学困難な者に対し、奨学資金を支給した。 (単位 人、円)	高校在学者であって、経済的な理由によって就学困難な高校生に奨学金を支給している。また、平成21年度は支給人数を申請者数が増加傾向にあるため、月あたり1万円を限度に引き上げることとした。																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>支給人數</th> <th>奨 学 資 金</th> <th>支 給 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通年(12ヵ月)</td> <td>60</td> <td>月額 6,500</td> <td>4,647,500</td> </tr> <tr> <td>冬期(4ヵ月)</td> <td></td> <td>月額 6,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>60</td> <td></td> <td>4,647,500</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	支給人數	奨 学 資 金	支 給 額	通年(12ヵ月)	60	月額 6,500	4,647,500	冬期(4ヵ月)		月額 6,500		計	60		4,647,500																	
区 分	支給人數	奨 学 資 金	支 給 額																															
通年(12ヵ月)	60	月額 6,500	4,647,500																															
冬期(4ヵ月)		月額 6,500																																
計	60		4,647,500																															
8. 教育施設の整備	教育施設の整備を次のとおり実施した。	(学校施設の耐震化推進) 駒場小学校校舎の改築工事に着手し、木野東小学校及び柳町小学校校舎の耐震改修工事を実施した。また、緑南中学校校舎の耐震化は実施した。安全と安心な学校づくりのため施設の耐震診断を実施した。安全と安心な学校を開設するための取り組みが必要である。 (教室不足解消のための増築) 駒場小学校校舎改築工事に着手し、木野東小学校および鈴蘭小学校校舎の増築工事を実施した。児童・生徒の増加に対応するため木野東小学校および鈴蘭小学校校舎の増築工事を実施した。児童・生徒の増加に対応するための増築。 (既存施設の改修及び保全) 駒場小学校校舎改築工事その1の改修工事を実施した。今後も安全性と機能性を確保するため、計画的な改修と保全に努める。 (老朽化した学校プールの修繕)駒場小学校校舎改築工事その2の改修工事を実施した。今後も安全性と機能性を確保するため、計画的な改修と保全に努める。																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工 事 名 等</th> <th>工 事 費 等</th> <th>内 容</th> <th>(単位 円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>駒場小学校校舎改築主体工事 (全体会員額 416,850,000)</td> <td>174,978,000</td> <td>R C 2階建 2,622m<sup>2</sup> 解体 23m<sup>2</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>駒場小学校校舎改築電気設備工事 (全体会員額 87,980,000)</td> <td>19,692,000</td> <td>受変電設備、照明コンセント設備、弱電設備、太陽光発電設備ほか</td> <td></td> </tr> <tr> <td>駒場小学校校舎改築暖房換気設備工事 (全体会員額 64,050,000)</td> <td>9,428,000</td> <td>空調設備、蓄熱暖房設備ほか</td> <td></td> </tr> <tr> <td>駒場小学校校舎改築給排水衛生設備工事 (全体会員額 40,845,000)</td> <td>7,487,000</td> <td>屋内外給排水設備、衛生設備ほか</td> <td></td> </tr> <tr> <td>駒場小学校校舎解体工事その1</td> <td>2,079,000</td> <td>C B プラック造平屋建 112m<sup>2</sup> 木造平屋建 42m<sup>2</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鈴蘭小学校校舎増築工事</td> <td>67,361,609</td> <td>R C 2階建 416m<sup>2</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鈴蘭小学校校舎増築電気設備工事</td> <td>7,245,000</td> <td>照明コンセント設備、弱電設備ほか</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工 事 名 等	工 事 費 等	内 容	(単位 円)	駒場小学校校舎改築主体工事 (全体会員額 416,850,000)	174,978,000	R C 2階建 2,622m <sup>2</sup> 解体 23m <sup>2</sup>		駒場小学校校舎改築電気設備工事 (全体会員額 87,980,000)	19,692,000	受変電設備、照明コンセント設備、弱電設備、太陽光発電設備ほか		駒場小学校校舎改築暖房換気設備工事 (全体会員額 64,050,000)	9,428,000	空調設備、蓄熱暖房設備ほか		駒場小学校校舎改築給排水衛生設備工事 (全体会員額 40,845,000)	7,487,000	屋内外給排水設備、衛生設備ほか		駒場小学校校舎解体工事その1	2,079,000	C B プラック造平屋建 112m <sup>2</sup> 木造平屋建 42m <sup>2</sup>		鈴蘭小学校校舎増築工事	67,361,609	R C 2階建 416m <sup>2</sup>		鈴蘭小学校校舎増築電気設備工事	7,245,000	照明コンセント設備、弱電設備ほか		
工 事 名 等	工 事 費 等	内 容	(単位 円)																															
駒場小学校校舎改築主体工事 (全体会員額 416,850,000)	174,978,000	R C 2階建 2,622m <sup>2</sup> 解体 23m <sup>2</sup>																																
駒場小学校校舎改築電気設備工事 (全体会員額 87,980,000)	19,692,000	受変電設備、照明コンセント設備、弱電設備、太陽光発電設備ほか																																
駒場小学校校舎改築暖房換気設備工事 (全体会員額 64,050,000)	9,428,000	空調設備、蓄熱暖房設備ほか																																
駒場小学校校舎改築給排水衛生設備工事 (全体会員額 40,845,000)	7,487,000	屋内外給排水設備、衛生設備ほか																																
駒場小学校校舎解体工事その1	2,079,000	C B プラック造平屋建 112m <sup>2</sup> 木造平屋建 42m <sup>2</sup>																																
鈴蘭小学校校舎増築工事	67,361,609	R C 2階建 416m <sup>2</sup>																																
鈴蘭小学校校舎増築電気設備工事	7,245,000	照明コンセント設備、弱電設備ほか																																

項 目	主 要 な 施 策	成 果		教育委員会の点検・評価
		屋内 外給排水設 備、衛生設 備、暖房設 備ほか	職員室改修	
鈴蘭小学校校舎増築機械設備工事	14,700,000	屋内外給排水設備、衛生設備、暖房設備ほか		
鈴蘭小学校職員室等改修工事	5,321,400	職員室改修		
木野東小学校校舎増築主体工事	96,586,235	R C 3階建 742m <sup>2</sup>		
木野東小学校校舎増築電気設備工事	29,211,000	照明コントロール設備、弱電設備		
木野東小学校校舎増築機械設備工事	28,297,500	屋内外給排水設備、衛生設備、暖房設備ほか		
木野東小学校給食室改修工事	21,315,000	内装、ダミエーター、電気設備、機械設備ほか		
柳町小学校校舎耐震改修工事	25,725,000	2F 壁内フレース 7構面 3F 壁内フレース 9構面		
柳町小学校校舎外壁塗装工事	18,060,000	外壁塗装、網戸設置		
柳町小学校ダムウェーダー改修工事	1,385,160	ダムウェーダーインバータ制御		
緑陽台小学校水泳プール改修工事	5,775,000	水槽改修 495m <sup>2</sup>		
下音更小学校水泳プール上屋シート取替工事	4,588,500	上屋シート 909m <sup>2</sup>		
東土幌小学校プール水槽シート取替工事	2,005,500	水槽シート 306m <sup>2</sup>		
駒場小学校校舎改築設計委託業務	28,213,500	ボーリング調査、基本設計、実施設計		
鈴蘭小学校校舎増築設計委託業務	3,675,000	校舎増築実施設計		
駒場小学校校舎改築工事監理業務 (全体金額 3,423,000)	1,020,000	工事監理・指導監督		
鈴蘭小学校校舎改築工事監理業務	871,500	工事監理・指導監督		
木野東小学校校舎改築工事監理業務	1,260,000	工事監理・指導監督		
緑南中学校校舎耐震診断業務	3,465,000	鉄骨造 3,667m <sup>2</sup>		
計	579,745,904			

項目	主な施策	成果	教育委員会の点検・評価
9. 教員住宅の整備	教員住宅の整備を次のとおり実施した。	(単位 円) 工事名 教員住宅給湯設備工事 教員住宅屋根塗装工事 計	教職員の福利厚生の一環として整備されている教員住宅の改善のため、給湯器未設置の住宅にボイラーを設置した。「学校評価」及び情報の発信のみの激しい屋根を塗装した。今後も設置目的の達成のため、入居者の要望を把握し、入居状況を踏まえながら整備を進めることある。
10. 開かれた学校づくり	信頼される開かれた学校づくりに向けて次のとおり実施した。  ・学校評議員の委嘱 (小学校 63名、中学校22名) ・小規模特認校制度導入 (昭和小学校)	信頼される開かれた学校づくりを進めるため、学校評議員制度を活用している。 今後とも、学校評議員を活用した「学校評価」及び情報の発信に努め、学校・地域・家庭のより一層の連携協力を強めていきたい。	また、昭和小学校の小規模特認校制度導入については平成19年度は3名の児童が通学していましたが、平成20年度は2名となっている。制度のPRに今後とも努めていきたい。
11. いじめ等の対策	いじめ問題等対策委員会を設置し、全小中学校にアンケート調査を実施した。 アンケート調査をまとめた「いじめに関する実態調査」と、具体的な対応状況を整理し、「いじめ指導事例集」を作成し、教職員に配付した。	アンケート調査を基に、いじめの実態把握に取り組んでいた。今後、ネット上のいじめ等にについても調査していくとともに、適応指導教室や、心の教室相談員との連携を図りながら、いじめ・不登校に対して解決できるよう進めている。 また、校内・町内体制の充実により、早期発見・早期解決に取り組んでいきたい。	登下校時の通学路の安全対策については、地域ぐるみで子どもを見守る取り組みが進められている。 また、中学校5校にAEDを設置するとともに、教職員に対しての普通救命講習を実施し、操作方法等の研修を行った。
12. 児童生徒の安全確保	児童生徒の安全確保対策として次のとおり実施した。  ・新入学児童への防犯ブザーの配付 ・巡回強化のための用具購入（蛍光反射腕章） ・全中学校にAED（自動体外式除細動器）を配置		

項目	主要な施策	成果	教育委員会の点検・評価
13. 情報化時代に対応できるような教育を実施した。	小中学校に教育用コンピュータを整備し、児童生徒が基礎的操作の習得並びに情報化時代に対応できるような教育を実施した。 次の中学校のコンピュータ整備を実施した。 整備校 柳町小学校、緑陽台小学校	コンピュータ整備については、小学校は4人に1台を、平成20年度から2人に1台で整備し、中学校は1人に1台で整備している。 また、中学校の教員用は整備完了しているが、今後は小学校の教員用についても、年次計画で整備をしていきたい。	
14. 国際理解教育	英語指導助手を配置し、中学校における生徒に対する英語の発音指導のほか、小学校における英会話の補助及び地域における国際交流活動等の活動を行っている。 英語指導助手 1名	英語指導助手については、契約期間を1年間とし、更新を認めている。小中学校にはじめ、社会人の英会話教室や国際交流の集いなど幅広く活用されており、今後も継続していきたい。	
15. 食育	生涯にわたって健康で生き生きとした生活を送ることを目指し、児童生徒に対し、児童生徒による食品の品質や安全性などを自らが判断できる能力の育成を図っている。 十勝管内唯一の自校給食は、搬送時間を要しないことから手作りの献立や暖かい料理の提供が行え、児童生徒から好評を得ている。	本町の学校給食は、地場産品の割合が高いが、今後とも食教育の充実を図るとともに、食品の安全・安心に継続して取り組む必要がある。 平成20年度は、栄養士4名を栄養教諭として指令し、食教育充実に向けての体制整備を進めた。	
16. 特別支援教育	特別支援学級の肢体不自由児等を対象に介護福祉士・ボランティアを派遣するとともに、新たに通常学級には、学習支援員を配置した。	今後とも、特別支援学級での肢体不自由等の障がいがある児童生徒の学校生活を介助するため、介護福祉士やボランティア介助員の導入が必要である。 また、通常学級における発達障害等により特別な支援を要する児童生徒に対して、学習活動や学習支援員を導入した。 ため、平成20年度より学習支援員を増員した。更に要望がある小中学校が増えていたため、増員して特別支援教育の充実を図っている。	・介護福祉士及びボランティア 5校 7名 ・学習支援員 7校 10名

項目	成 績	教育委員会の点検・評価
主要な施策		
社会教育事業 1.青少年教育事業	<p>団体活動を奨励し、体験学習の充実と指導者の養成を図り、青少年の健全育成に努めた。</p> <p>(子ども姉妹町視察研修)</p> <p>小学生の相互交流事業として定着し、相互理解が図られている。継続的姉妹町交流は本事業のみであり、今後も継続が必要である。</p> <p>(各種こども会事業)</p> <p>地域と共に少年の健全育成を図るものであり、地域との関係が希薄化する中、今後も継続が必要である。</p> <p>(こども会指導者会議)</p> <p>会話人、文化少年団指導者の資質向上及び養成を図り、地域での青少年の健全育成を図るために、今後も継続が必要である。</p> <p>(各世話人・指導者の会)</p> <p>年会議を図るも、今後も継続が必要である。</p> <p>(秋山ハイキング)</p> <p>青少年の健全育成を図るために、今後も継続が必要である。</p> <p>(文化少年団指導者会議)</p> <p>青少年の健全育成を図るために、今後も継続が必要である。</p> <p>(文化少年団指導者会議(4団体))</p> <p>青少年の健全育成を図るために、今後も継続が必要である。</p> <p>(子ども体験隊)</p> <p>青少年の健全育成を図るために、今後も継続が必要である。</p> <p>(熟年先生講座(夏・冬))</p> <p>青少年の健全育成を図るために、今後も継続が必要である。</p> <p>(国際交流のつどい)</p> <p>青少年の健全育成を図るために、今後も継続が必要である。</p> <p>(青年リーダー研修会(北部三町))</p> <p>青少年の健全育成を図るために、今後も継続が必要である。</p> <p>(成人式)</p> <p>青少年の健全育成を図るために、今後も継続が必要である。</p>	
2.青少年対策	<p>青少年の健全育成を図るため、街頭・巡視指導・通報・相談等を行い、非行防止に努めた。</p> <p>(街頭・巡回指導)</p> <p>青少年センターを観点に、各地区の指導員と連携をとりながら進めている。今後も地域との連携をさらに密接に進めていくたい。</p> <p>(通報等)</p> <p>主に学校を通じ青少年センターに通報があり、学校等関係機関に周知している。事件的要素の多い場合の早期対応等に今後とも努力していくたい。</p> <p>(広報紙)</p> <p>月1回発行し、概ね好評の意見もあるが、より多くの町民へ見てもらえる紙面づくりに努めたい。</p> <p>見てもらう紙面作りにはも努め、家庭・学校配布を行いたい。</p>	

項目	成 果	教育委員会の点検・評価
主要な施策		
3. 成人教育事業	学習の場と機会を提供し、計画的・継続的学習を進めるとともに、団体の自主的活動の助長に努めた。	(各家庭教育学級) 幼児・小中学生の保護者の子育てを支援すると共に資質向上のため、今後も継続が必要である。 (女性ライスクール) 生活課題の解決や資質向上、地域での役割を醸成するために、今後も必要である。 (各種高齢者教室) 社会の変化に対応すると共に地域のリーダーの習得と健生き甲斐のある社会生活を実施する取り組みを実施するもので、今後とも必要な事業である。 (各種子育て支援相談事業) 問題解決、情報提供に有効な事業である。
4. 公民館事業	社会の変化に対応していくために、自己学習や世代間・地域間交流の促進を図った。	(実用講座) 実用講座、調理講座、芸術講座、趣味講座、語学講座、異文化国際理解講座など住民ニーズや時宜に対応した講座を実施して、生きがいづくりや資質の向上、また、文化的生活を支援していくもので、今後も継続が必要である。
5.生涯学習事業	生涯学習への認識を深めるとともに、町内高等教育機関との連携による学習機会の提供を図った。	(生涯学習フェスティバル) 生涯学習フェスティバルによる実行委員会形式のイベントであり、貴重な学習発表の場でもある。 (OOGJCオープンカレッジ) OOGJCオープンカレッジ(28講座・4事業) (音更町・帯広大谷短期大学共同生涯学習プログラム事業) 1,093 71 434 (音更町・音更高等学校連携生涯学習プログラム事業)

項目	主な施策	成果	教育委員会の点検・評価																		
6. 文化・芸術事業	芸術鑑賞や発表の機会を提供するなど豊かな心を養うとともに、芸術文化の向上に努めた。	<p>(中・小学生のための音楽教室) 僅れたクラシック演奏やミュージカル公演に肌で触れる場の機会を提供した。今後も情報教育の一環として継続する必要がある。</p> <p>(文化祭) 芸能祭りや作品展示会を通じて人々に交流の場を広げ、地域に根ざした芸術文化活動を促進した。今後も活動を通じて人づくり・まちづくりをする必要がある。</p> <p>(芸術鑑賞事業) 文化事業協会と連携し、劇団四季等の舞台公演やクラシック等の音楽公演、大地展等の美術展示など各ジャンルで質の高い鑑賞事業を開催した。事業費の制約もあるが、今後も鑑賞機会の充実を目指して取り組む必要がある。</p>																			
7. 文化センター利用状況		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学生のための音楽教室</td> <td>1,041</td> </tr> <tr> <td>小学生のための音楽教室</td> <td>1,631</td> </tr> <tr> <td>文化祭</td> <td>5,010</td> </tr> <tr> <td>芸術鑑賞事業(事業協会との連携事業) 13事業</td> <td>6,228</td> </tr> </tbody> </table>	事業	参加人数	中学生のための音楽教室	1,041	小学生のための音楽教室	1,631	文化祭	5,010	芸術鑑賞事業(事業協会との連携事業) 13事業	6,228									
事業	参加人数																				
中学生のための音楽教室	1,041																				
小学生のための音楽教室	1,631																				
文化祭	5,010																				
芸術鑑賞事業(事業協会との連携事業) 13事業	6,228																				
8. 図書、視聴覚の振興		<p>(1) 図書館の利用状況</p> <p>①図書の貸出状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>貸出冊数</th> <th>貸出人數</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書館</td> <td>215,486</td> <td>56,645人</td> </tr> <tr> <td>分館</td> <td>28,201</td> <td>7,635人</td> </tr> <tr> <td>団体</td> <td>40,077</td> <td>1,010件</td> </tr> <tr> <td>相互貸借</td> <td>454</td> <td>269件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>284,218</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	貸出冊数	貸出人數	図書館	215,486	56,645人	分館	28,201	7,635人	団体	40,077	1,010件	相互貸借	454	269件	計	284,218		<p>利用状況は前年度を上回っており順調に推移しているが、他の年代に比べ、中・高校生の利用が少ない状況にある。昨年度設置した「ティーンズコーナー」を充実するなど、中・高校生への読書普及を積極的にすめたい。蔵書冊数の目標である町民一人当たり4冊にできるだけ早く到達できるよう、計画的に図書整備を行い、利用者に新鮮な資料・情報を提供に努めた。</p>
区分	貸出冊数	貸出人數																			
図書館	215,486	56,645人																			
分館	28,201	7,635人																			
団体	40,077	1,010件																			
相互貸借	454	269件																			
計	284,218																				

項目	主要な施策	成果	教育委員会の点検・評価																																															
	<p>③図書館（本館）の入館者数 105,746人</p> <p>④図書館の蔵書冊数等 (単位 冊)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">平成20年度図書等受入数</th> <th>除籍冊数等</th> <th>蔵書冊数等</th> </tr> <tr> <th>購入</th> <th>寄贈等</th> <th>計</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,917</td> <td>2,362</td> <td>7,279</td> <td>2,616</td> <td>166,375</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 図書館事業の実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>業名</th> <th>参加人数等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>読書感想文コンクール</td> <td></td> <td>480人</td> </tr> <tr> <td>図書交換会</td> <td></td> <td>176人</td> </tr> <tr> <td>子ども映画会</td> <td></td> <td>126人</td> </tr> <tr> <td>エッセイ教室</td> <td></td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>絵本作家講演会</td> <td></td> <td>120人</td> </tr> <tr> <td>絵本原画展</td> <td></td> <td>1,274人</td> </tr> <tr> <td>文学講座</td> <td></td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>工作教室</td> <td></td> <td>62人</td> </tr> <tr> <td>移動文庫</td> <td></td> <td>10校</td> </tr> <tr> <td>ブックスタート</td> <td></td> <td>433人</td> </tr> </tbody> </table>	平成20年度図書等受入数			除籍冊数等	蔵書冊数等	購入	寄贈等	計			4,917	2,362	7,279	2,616	166,375	事業	業名	参加人数等	読書感想文コンクール		480人	図書交換会		176人	子ども映画会		126人	エッセイ教室		15人	絵本作家講演会		120人	絵本原画展		1,274人	文学講座		22人	工作教室		62人	移動文庫		10校	ブックスタート		433人	<p>平成21年度は、図書館が移転して10年の節目の年にとなる事から、例年の事業に加え、記念事業を企画し、さらに町民など事務しまれると連携し、相乗効果を期待できる事業を計画したい。</p>
平成20年度図書等受入数			除籍冊数等	蔵書冊数等																																														
購入	寄贈等	計																																																
4,917	2,362	7,279	2,616	166,375																																														
事業	業名	参加人数等																																																
読書感想文コンクール		480人																																																
図書交換会		176人																																																
子ども映画会		126人																																																
エッセイ教室		15人																																																
絵本作家講演会		120人																																																
絵本原画展		1,274人																																																
文学講座		22人																																																
工作教室		62人																																																
移動文庫		10校																																																
ブックスタート		433人																																																

項目	主な施策	成果	教育委員会の点検・評価																																																																																	
社会体育の振興	<p>1. 体力づくり、健康づくりの振興</p> <p>楽しく継続的に体力づくりを実践する態度を育て、健康の維持増進に努めた。</p>	<p>(単位 人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○スポーツライフ</td> <td></td> <td>175</td> </tr> <tr> <td>・幼児たいそう教室（幼児教育）</td> <td></td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>・チャレンジスポーツ教室（少年教育）</td> <td></td> <td>104</td> </tr> <tr> <td>・いきいき女性軽スポーツ教室（成人教育）</td> <td></td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>・40歳～64歳までの軽スポーツ教室（成人教育）</td> <td></td> <td>127</td> </tr> <tr> <td>・高齢者スポーツ学級（成人教育）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○スポーツ教室</td> <td></td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>・こども体操教室</td> <td></td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>・こども空手教室</td> <td></td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>・ジュニアトランボリン教室</td> <td></td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>・初心者スケート教室</td> <td></td> <td>1,227</td> </tr> <tr> <td>・こども水泳教室</td> <td></td> <td>10,789</td> </tr> <tr> <td>・大人水泳教室</td> <td></td> <td>524</td> </tr> <tr> <td>・短期こども水泳教室</td> <td></td> <td>325</td> </tr> <tr> <td>・ステップアップ水泳教室</td> <td></td> <td>246</td> </tr> <tr> <td>・ジュニアステップアップ水泳教室</td> <td></td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>・個人レッスン（大人水泳）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○体力づくり教室</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・リフレッシュエアロ</td> <td></td> <td>4,920</td> </tr> <tr> <td>・大人のためのスタジオプログラム</td> <td></td> <td>3,841</td> </tr> <tr> <td>・水中運動</td> <td></td> <td>9,951</td> </tr> <tr> <td>○スポーツ大会</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・すずらん駅伝小学生大会兼健康マラソン大会</td> <td></td> <td>223</td> </tr> <tr> <td>・市民スケート大会</td> <td></td> <td>322</td> </tr> <tr> <td>・市民体育祭（11種目）</td> <td></td> <td>1,993</td> </tr> <tr> <td>・秋のスポーツ大会（11種目）</td> <td></td> <td>1,511</td> </tr> </tbody> </table>	事業	名	参加人数	○スポーツライフ		175	・幼児たいそう教室（幼児教育）		16	・チャレンジスポーツ教室（少年教育）		104	・いきいき女性軽スポーツ教室（成人教育）		45	・40歳～64歳までの軽スポーツ教室（成人教育）		127	・高齢者スポーツ学級（成人教育）			○スポーツ教室		75	・こども体操教室		67	・こども空手教室		20	・ジュニアトランボリン教室		55	・初心者スケート教室		1,227	・こども水泳教室		10,789	・大人水泳教室		524	・短期こども水泳教室		325	・ステップアップ水泳教室		246	・ジュニアステップアップ水泳教室		102	・個人レッスン（大人水泳）			○体力づくり教室			・リフレッシュエアロ		4,920	・大人のためのスタジオプログラム		3,841	・水中運動		9,951	○スポーツ大会			・すずらん駅伝小学生大会兼健康マラソン大会		223	・市民スケート大会		322	・市民体育祭（11種目）		1,993	・秋のスポーツ大会（11種目）		1,511	<p>スポーツ教室、スポーツ大会の参加数は、前年とほぼ同様の数値となつている。</p> <p>温水プールでは、成人が象の水泳教室等に若干の落ち込みが見受けられるが、利用者の休憩時間の見直しで教室開催率を減らしたことにより、延べ人数が減少したものであり、実人數に変動はない。平成21年度は、効率の良い施設運営を図るために、教室種類をさらに加え、利用者サービスの向上に努めたい。</p> <p>また、体育館では、女性に人気のヨガやピラティス、太極拳などの多彩なスポーツ教室を提供するほか、新たに保健センターと連携した、栄養指導と運動の両面から健康をサポートする特定保健指導も実施していきたい。</p>
事業	名	参加人数																																																																																		
○スポーツライフ		175																																																																																		
・幼児たいそう教室（幼児教育）		16																																																																																		
・チャレンジスポーツ教室（少年教育）		104																																																																																		
・いきいき女性軽スポーツ教室（成人教育）		45																																																																																		
・40歳～64歳までの軽スポーツ教室（成人教育）		127																																																																																		
・高齢者スポーツ学級（成人教育）																																																																																				
○スポーツ教室		75																																																																																		
・こども体操教室		67																																																																																		
・こども空手教室		20																																																																																		
・ジュニアトランボリン教室		55																																																																																		
・初心者スケート教室		1,227																																																																																		
・こども水泳教室		10,789																																																																																		
・大人水泳教室		524																																																																																		
・短期こども水泳教室		325																																																																																		
・ステップアップ水泳教室		246																																																																																		
・ジュニアステップアップ水泳教室		102																																																																																		
・個人レッスン（大人水泳）																																																																																				
○体力づくり教室																																																																																				
・リフレッシュエアロ		4,920																																																																																		
・大人のためのスタジオプログラム		3,841																																																																																		
・水中運動		9,951																																																																																		
○スポーツ大会																																																																																				
・すずらん駅伝小学生大会兼健康マラソン大会		223																																																																																		
・市民スケート大会		322																																																																																		
・市民体育祭（11種目）		1,993																																																																																		
・秋のスポーツ大会（11種目）		1,511																																																																																		

項目	主 要 な 施 策	成 果	教育委員会の点検・評価
2. 指導者、リーダーの養成	スポーツ指導者及びリーダーを養成するため次のとおり実施した。  （単位 人）  事 業 名 参加人数 ・スポーツ少年団リーダー研修会 19 ・スポーツ指導者研修会 24		スポーツ活動の中核となるべき指導者やリーダーを養成することは極めて重要なことであることから、研鑽する場の提供を継続的に実施したい。
3. 奨励及び顕彰	スポーツの奨励と向上を図るため次のとおり実施した。  （単位 人）  事 業 名 参加人数 ・スポーツ大会参加補助 (全国 8件) 11 (全道 50件) 213 ・スポーツ質等表彰 (26個入) 26		スポーツ大会参加補助は、優秀な成績をおさめ全道大会以上の大会へ参加するものに対して、その費用の一部を補助するものであり、スポーツ振興の観点から今後も継続が必要である。
4. 施設の利用状況	(1) 屋内体育施設  （単位 人、件）  施設名 個人利用 団体利用 計 男 女 計 件 数 人 数 総合体育馆 30,604 25,979 56,583 2,516 73,867 130,460 武道館 1,656 315 1,971 1,192 32,714 34,685 温水プール 27,519 37,547 65,066 287 5,920 70,986		施設利用は、全体的に前年より微減となつてている。施設利用に健康づくりやスポーツに取り組むことができる環境は整備されているが、競技志向の高まりから競技場コンディションのグレードアップを望む声も聞かれ、検討課題である。
	(2) 軽スポーツセンター  （単位 人、件）  施設名 件数 人數 ・鈴蘭軽スポーツセンター 1,152 11,317 ・宝来軽スポーツセンター 926 14,608		

項目	主な施策	成績	教育委員会の点検・評価																												
	(3) 運動公園等	<p>(単位 人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>希望が丘野球場</td> <td>5,533</td> </tr> <tr> <td>テニスコート(木野北ほか)</td> <td>9,444</td> </tr> <tr> <td>ソフトボール場</td> <td>5,735</td> </tr> <tr> <td>柳町河川緑地グラウンド</td> <td>3,167</td> </tr> <tr> <td>木野河川緑地グラウンド</td> <td>8,814</td> </tr> <tr> <td>音幌河川緑地グラウンド</td> <td>353</td> </tr> <tr> <td>パークゴルフ場(4コース)</td> <td>110,644</td> </tr> <tr> <td>個人利用</td> <td></td> </tr> <tr> <td>パークゴルフ場(6コース)</td> <td>20,771</td> </tr> <tr> <td>団体利用</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 学校開放事業</p> <p>(単位 人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種目指定開放校(11校)</th> <th>地域開放校(10校)</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>72,345</td> <td>21,463</td> <td>93,808</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	人数	希望が丘野球場	5,533	テニスコート(木野北ほか)	9,444	ソフトボール場	5,735	柳町河川緑地グラウンド	3,167	木野河川緑地グラウンド	8,814	音幌河川緑地グラウンド	353	パークゴルフ場(4コース)	110,644	個人利用		パークゴルフ場(6コース)	20,771	団体利用		種目指定開放校(11校)	地域開放校(10校)	計	72,345	21,463	93,808	
施設名	人数																														
希望が丘野球場	5,533																														
テニスコート(木野北ほか)	9,444																														
ソフトボール場	5,735																														
柳町河川緑地グラウンド	3,167																														
木野河川緑地グラウンド	8,814																														
音幌河川緑地グラウンド	353																														
パークゴルフ場(4コース)	110,644																														
個人利用																															
パークゴルフ場(6コース)	20,771																														
団体利用																															
種目指定開放校(11校)	地域開放校(10校)	計																													
72,345	21,463	93,808																													
5. 指定管理者制度の導入	次の社会体育施設について、指定管理者制度を導入した。	<p>(1) 温水プール 平成18年度～</p> <p>(2) 総合体育館・武道館 平成19年度～</p>	両施設とも前年度に比べ利用者数は微減となつたが、町が管理していた時に比べ温水プールで約5%、体育館・武道館で約10%増を確保しており、良好な運営状況と認められる。 更なるサービスの提供と、事業の充実に期待したい。																												

## II 教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価に関する学識経験者の意見

### ◎ 点検及び評価に関する総括的印象

各担当部署においては、音更町教育行政推進方針に基づき、町民の目線に立って施策を立て、適切に業務推進がなされ成果を収めていることを高く評価したい。

次年度以降の点検・評価の手法については、一例として当該年度の重点施策に焦点を合わせ評価項目の重点化・精選化をするなど、改善のための不断のご努力をお願いする。

#### (1) 教育委員会の活動状況

◎ 現状、教育委員会で審議されている案件（議案 39 件、協議案 10 件）は多数あり、それらについて「各委員への議案・資料等の事前説明を行う等、審議がより活発なものになるように」取り組んでおられることを評価する。

教育委員会の会議は月 1 回（臨時会を含め 13 回）と限定されているが、日常的な事務局との意見交換で補われているとある。現状の委員会会議の開催頻度、議案を踏まえると、この「日常的な意見交換」が極めて重要であり、今後、こうした「日常的な意見交換」から出てきた考え等を目にする形（記録に残る=評価対象になる）で組織的に汲み取る仕組みの検討を期待したい。

また、今日の教育が抱えている課題の多様性を考えると、教育委員会に期待される役割は大きい。地域における教育行政は、その管轄地域内の①教育を規制・制限し、②指導・助言・支援し、さらには「積極的な教育行政を推進」するために③自ら教育活動を実施することも射程におくべきではないか、と考える。この点も今後検討されることも期待したい。たとえば、今後の地域社会の将来を考えると従来以上に人を育てることが必要になる。それは自分たちの町を愛し、まちづくりに貢献しようとする人である。そうした人づくりは単に掛け声だけで実現できるものではなく、具体的な教育課程（体験を含む郷土学習、協働のまちづくり学習等）を組織的に実践していく必要がある。その教育課程づくりをリードしていく役割を教育委員会に期待したい。

もちろん、現在の教育委員会の体制では自ずと限界があるが、町内あるいは十勝管内の関係機関との連携で取り組むことも可能である。

(2) ~ (6) の項目については「(6) 町民への情報提供の状況」についてのみ記す。現状で可能な情報発信は広報紙、ホームページの利用など行われている。これらの情報発信で課題があるとすれば、増やすことよりも利用者が必要なときに必要な情報にストレスなくアクセスできる仕組み、そしてわかりやすさであろう。他の行政部門における情報発信にも通じるが、行政情報の発信についての受け手にとっての充分性の評価を行うことも町

行政にとっては今後の課題である。また、町長公約にあった地域コミュニティ放送が実現すれば、その活用は大いに期待される。

#### ◎ 会議の状況

開催に当たり、議案・資料等を事前に配布し説明することにより、各教育委員が前以て問題の趣旨や内容を理解・検討できるとともに、適切な意見を持って本会議に臨むことができる利点がある。そのことが委員会議の活性化につながり、ひいては音更町教育の振興に寄与することになっている。また、会議題・内容も時代の要請や時宜を得たものであり、適切である。

#### ◎ 町民への情報提供

音更町の教育の振興を図る上で情報提供は欠かせない。今後も町民の教育への関心を喚起し一層の理解を図るためにも、より分かりやすく広く情報提供が可能となる方策を考え欲しい。併せて、常に住民のニーズや情報を受け入れる方法についても検討することが必要であると思う。

### (2) 教育行政推進における主要な施策の実施状況

#### (ア) 文教対策

◎ 限られた予算のなかで16項目にわたって総合的によく取り組まれている。以下ではそのなかでいくつかの項目について期待するところを記す。

まず、「総合的な学習の時間の支援事業」についてだが、現状、各学校、各教諭の創意工夫でさまざまな分野にわたる総合学習が展開されている。これは個々の学校、教諭のやりがいがあり、教育機関、教諭としての矜持にかかるところであるが、一方で、業務多忙の中で負担になっている部分でもあると推察される。前項で指摘した全町的に統一した教育課程による「郷土学習」をこの枠組みで実践することも検討の価値があると考える。

「いじめ等の対策」については、現在、情報収集、実態把握に取り組んでいるところである。この問題は極めてセンシティブで対応が難しいので、実態把握への取り組みと事実確認に慎重に取り組む現在の姿勢は大切である。その上でさらに期待したいところは、いじめの実態把握のためにも当事者（現役生徒・児童）へのアンケートでの事実確認に加えて、直近当事者である卒業生への聞き取りの実施もその対処方法を考える上で重要であると考える。さらに、「学校裏サイト」や「ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)」というネットコミュニティの実態把握と対処法の研究への早急な着手を期待したい。

「情報教育」については出来るだけ早く、1台/人という教育環境を整えていただきたい。また、小学校教員についても1台/人という環境整備、あるいは個人所有機器の利用環境の整備と、情報及びシステムのセキュリティ環境を整備し、システム及び人的事故のない体制を築いていただきたい。また、蛇足ではあるが、タイピングについては一度身についた手法をその後修正することは難しいことを考えると、初習段階で「タッチタイピング」の習得を原則としていただきたい。

「食教育」では、十勝管内唯一の自校給食は今後とも是非維持していただきたい。自校給食は食育を展開していく上で良い環境である。また、食教育充実のためにそれぞれの学校で独自に取り組むと同時に生産・流通・消費・廃棄に関わる関係機関の協力・連携でのさらなる展開を期待したい。

#### ◎ 教職員研修

学校教育の成否は、教職員の資質にかかっている。そのため、教育委員会としては一層の研修の充実を図る必要がある。

本町では厳しい財政状況の中になりながら、研修の充実のために、必要な費用等を積極的に助成しており、研修の奨励や資質の向上を努めてきたことは評価できる。

財政的な面も考慮しなければならないが、今後可能であれば全国的な研修参加に対する補助を期待する。

#### ◎ 教員住宅の整備

地域に根ざした教育を進める上で、教職員がその地域に住み、保護者・住民と一体となって子どもの教育に当たることが重要であることは言うまでもない。そのためには、教職員ができるだけ快適な環境が不可欠である。給湯器の設置やトイレの洋式化など、一層の改善や整備に努力を要する。

#### ◎ 開かれた学校づくり

平成19年度から小規模特認校制度が導入され2年が経過した。この間、関係者の熱心な努力により、導入の趣旨・目的に沿って推進され、大きな成果を収めた。

今後は、これまでの経過の中で惹起している課題等について整理し、その解決に取り組む必要があると思う。とりわけ、応募者が少ない原因の一つに制度に対する理解不足という側面も考えられるので、実効が上がるPR方法に一考を要する。

#### ◎ いじめ等の対策

各学校が町単費採用の適応指導教室指導者や心の教室相談員と連携を図り、いじめや不登校に適切に対応し成果を上げている。

今後、学校においては「いじめはどこでも起こり得るが、決して許されるものではない」

との認識に立ち、全教職員が一丸になって取り組む機能的な学校体制の再構築を図り、未然防止、早期発見・早期対応等を組織的に迅速に行うこと。併せて、保護者、地域関係諸団体との連携のあり方を含めて、地域ぐるみ・町ぐるみで子どもを育てる気運を醸成することが重要である。教育委員会が中核となって進める施策が必要と思う。

#### ◎ 児童生徒の安全確保

AEDについては、これまで全中学校に配置されたが、今後全小学校はもとより、子どもたちが活動する公共施設・場所等への配置を考えるべきである。

#### (イ) 社会教育の振興

◎ 8項目にわたりよく取り組まれている。以下、いくつか個別項目について期待することを記す。

「青少年教育事業」についてはさまざまな機関・組織との調整・役割分担を適切に行って、行政がやるべきこと、行政にしかできないことに取り組むようお願いしたい。

「青少年対策」については大変かつ大切な業務によく取り組まれていることを踏まえた上で、更なる期待として、「いじめ対策」でも指摘したが、問題の本質に迫るためにも青少年センター運営委員会の委員に限りなく当事者に近い年齢の委員枠を設けることなども検討に値することだと考える。

「成人教育事業」から「図書・視聴覚の振興」についてはその参加・利用状況等良い成果をあげている。その理由を推察するに、企画担当者等の努力はもちろんのことだが、対象者である中高齢者の主体的参加姿勢をあげることができる。反面、教育委員会の点検・評価の「図書・視聴覚の振興」に「中・高校生の利用が少ない」とあるように若年者の社会参加が不足しているように感じられる。中高齢者の持つ自主的学習・参加の姿勢を学校教育、社会教育、生涯学習セグションが連携して、若年世代に醸成することが今後の課題である。

本を読むということは人間形成上極めて重要である。「図書・視聴覚の振興」では本や図書館に興味を持つてもらうために多くの事業を展開しており、評価できる。また、蔵書冊数の目標にできるだけ早く到達するとあるが、冊数目標の到達は第一義ではなく、増冊ペースは遅くとも、良い本をきちんと揃えていくことが大切であることを忘れてはいけない。何が良い本かは難しいが、その根幹には音更町図書館がどのような図書館を目指しているのかという理念があるはずであり、常にそこに立ち返った選書をしていくべきかと考える。

#### ◎ 青少年教育事業

「生きる力」を育む上で、体験活動は不可欠である。子どもは、様々な体験を通して豊

かな情操を育むとともに、学習したことを経験則として蓄え知恵として働かせる能力を身につけるのであり、子どもの成長に多大な好影響を与えることは明白である。

そのような意味合いから、これまで町として継続してきた「こども姉妹町視察研修事業」は、子どもの成長にとって大きな糧になった。

しかし、時代の変遷と共に継続の障害となる問題も起きてくるので、今後さらなる充実を図りながら継続するためにも、軽米町と十分協議し、無理なくスムーズに事業推進に当たることが大切である。

#### ◎ 成人育成事業

幼児家庭教育学級や女性ライフスクールの参加者が意外と少ないのでないのではないか。社会の急激な変化とともに町民（女性）のニーズも多様化している。原因等を分析・考察し、有効な対策を考えるべきである。

#### ◎ 図書・視聴覚の振興

利用状況が前年度を上回ったことは高く評価できる。また、中・高校生の利用増を図るために、「ティーンズコーナー」を設置するなど読書普及に熱心に取り組んでいる。今後も学校や家庭との連携のあり方の模索なども含めて取組を強化して欲しい。

### （ウ） 社会体育の振興

◎ 記載されている 5 項目にある各プログラムへの参加状況、施設の利用状況を見ると町民の方の運動、健康に対する意識の高さが推察される。財政的制約はあるが、教育行政としてはこれからも町民の方の要望に応えるハード、ソフト両面からの環境整備が期待される。特に「体力づくり、健康づくりの振興」における事業（各種プログラム）については、広報の工夫によってさらに参加者を増やすものもあるのではないだろうか。

指定管理者制度の導入についてはサービスの向上と利用者数の増加、結果としてのコストパフォーマンスの向上が図られており、評価できるが、就労者の雇用環境への配慮も忘れてはならないことを指摘しておく。

#### ◎ 体力づくり・健康づくりの振興

体力づくり・健康の維持増進のためのメニューが豊富なせいか、参加者数が多いことは大変喜ばしい。このことは、指定管理者制度の導入効果も大きいと考えられる。

今後も、町民のニーズをしっかりと受け止め、その実現に向けて真摯な努力が求められる。